

## 保証書（持ち込み修理）

型名 **HKP-320**

製造 No.

お客様	ご住所	〒							
	電話								
保証期間	お買い上げ日	年	月	日	本体	1年	年	月	日まで
販売店	電話								

修理実施日	修理内容	担当者

販売元 **株式会社ヒロ・コーポレーション**  
〒800-0236 福岡県北九州市小倉南区下貫2丁目7-1  
TEL:0120-123-187

【ご質問・修理依頼・部品のご注文等は下記のお電話番号にお問い合わせください】

●お客様窓口：TEL: 0120-05-1783

携帯電話の場合は下記へ

TEL:092-408-6261

(受け付時間:9:00~17:00<土、日祝祭日除く>)

Eメール:supportkom59@gmail.com

●サービスセンター：(株)KOM 福岡市南区清水1-25-10  
TEL:092-408-6261

輸入発売元：(株)KOM 〒815-0031 福岡市南区清水1-25-10 TEL:092-408-6261

## 取扱説明書

**HKP-320**

# 電気給湯ポット(家庭用)

**【保証書付】** 保証書は、取扱説明書の裏表紙に付いております。  
販売店にて必ず記入を受け、大切に保管してください。

この度は、電気給湯ポット(HKP-320)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱説明書及び保証書をよくお読みください。  
また、本取扱説明書は必ず保管して必要に応じてご利用ください。



### 【目次】

- 安全上のご注意……………P1-2
- 各部の名称……………P3-4
- フタの取扱いかた……………P5-6
- 使用方法……………P7-9
- 保温設定……………P9
- 再沸とう……………P10
- ご使用後……………P10
- お手入れ方法……………P11-12
- 製品仕様……………P12
- こんなときは……………P13
- 保証とアフターサービス……………P14
- 保証書……………P15

※本製品は家庭用として作られており、業務用には使用出来ません。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。

製品を安全で正確にお使いいただき、お使いになる人や周りの人々への危害・損傷を未然に防止するために守っていただくことを『注意』と『警告』に分けて説明しています。

 記号は<禁止>(しないでください)を表示します

 記号は<強制>(必ずしてください)を表示します

## ⚠️ 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

### 改造、分解、修理をしない



改造、分解、修理は絶対にしないでください。  
火災・感電・けがの原因になります。  
修理はお買い上げの販売店又は当社にご相談ください。

### 電源コード・電源プラグを正しく使う



次のように電源コードが破損するようなことはおやめください。  
・ねじる・引っ張る・無理に曲げる・束ねる  
・加工する・重い物を載せる・挟み込む  
火災や感電の原因となります。



電源プラグが傷んだり、差し込み口がゆるい時は使わないでください。感電・ショート・発火の原因となります。



電源プラグを抜く時は、必ず電源プラグを持って抜いてください。  
電源コードを引っ張ると、感電・ショートによる発火の原因となります。

### 使用的する電源について



■定格 15A 以上のコンセントを単独で使う  
■電源は交流 100V 専用を使用する  
■タコ足配線をしない  
異常発熱して発火したり、火災や感電の原因となります。



金属物などの異物を入れない  
マグネットプラグ部にピンなど金属片を付着させない。  
※感電・ショート・発火の原因になります。



子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない  
やけど、感電、けがをする恐れがあります。

### 異常等があるときは使わない



異常(煙が出る・異音がする・異臭がする等)があるとき、又は落下等により破損した時は電源プラグをぬいて本機の使用をおやめください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。不完全な差し込みの場合、感電や発熱による火災の原因となります。



電源プラグのほこり等を定期的に乾いた布で取り除いてお使いください。汚れたまま使用すると絶縁不良が起こり火災の原因となります。  
※お手入れの際は、安全のため電源プラグを差し込み口から抜いてください。



使用しない時は電源プラグを抜いてください。感電や漏電火災の原因となります。



電源プラグにホコリなどのゴミが付着した状態で使用しない  
感電・ショートの原因になります。

### 水につけたり、かけたりしない



機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。



カーテンなど可燃物の近くで使わない  
火災の原因となります。

# 安全上のご注意

## ⚠️ 注意 人が損害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される内容

### 設置時・設置場所のご注意



禁止



禁止

不安定な場所に置かないでください。  
機器が落ちたり倒れたりしてけがや火災の恐れがあります。

※万一、落下等により本機が破損した場合は電源プラグを差し込み口から抜いて使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



厳守



厳守

### 移動する時は電源プラグを抜く

移動の際は電源プラグを差し込み口から抜いてください。電源コードが傷ついて火災や感電の原因となります。また、電源コードを足に引っ掛け、けがの原因となります。



禁止

使用中、使用直後は熱い部分に触れない  
蒸気口やフタなど熱くなっている部分に触れないでください。  
やけどの原因になります。



禁止

加熱中は絶対にフタを開けない。  
やけどの原因になります。  
フタが完全に開かない場所に置かない。  
やけど、破損の原因になります。



禁止

蒸気口に顔や手を近づけない蒸気にさらない。  
やけどの原因になります。  
とくに乳幼児には注意してください。



禁止

### お手入れ時のご注意

本体が十分に冷えたことを確認して  
お手入れを行ってください。  
やけどの恐れがあります。



厳守

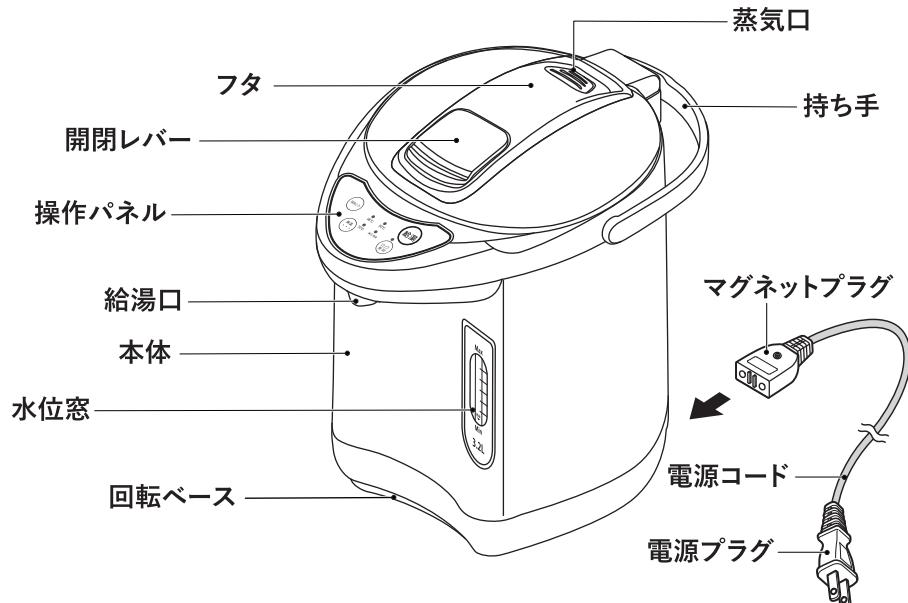


定期的に掃除をする

汚れたままで使用を続けると、臭いの原因になります。ご使用のたびにお手入れしてください。

## 各部の名称

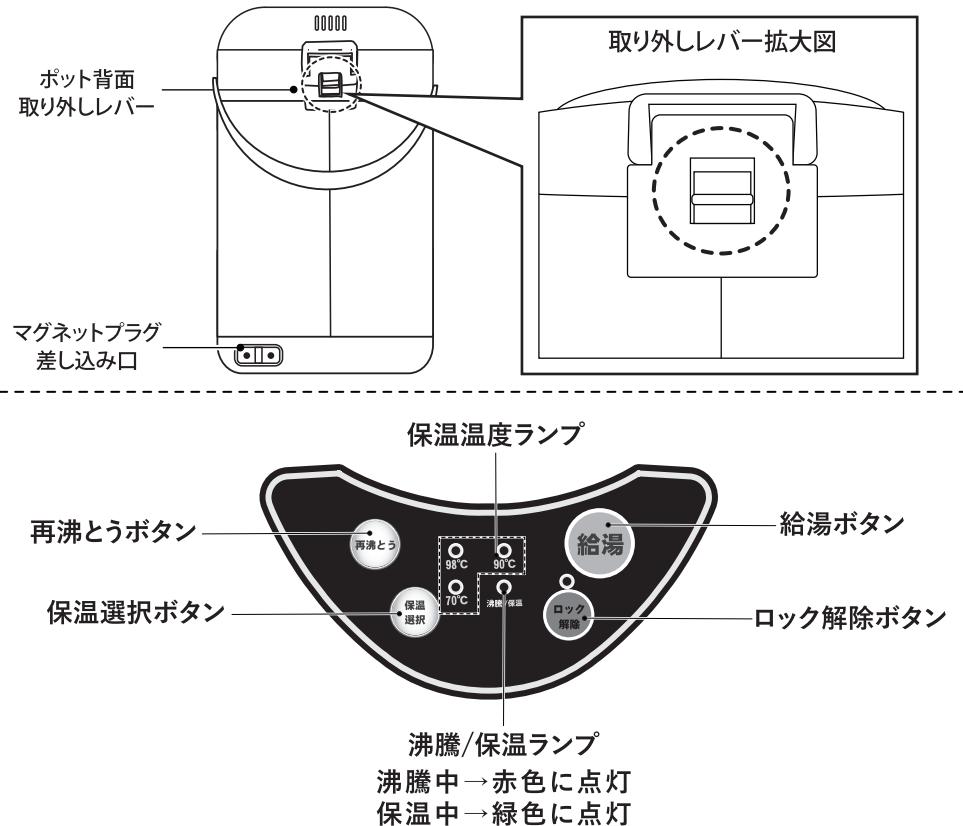
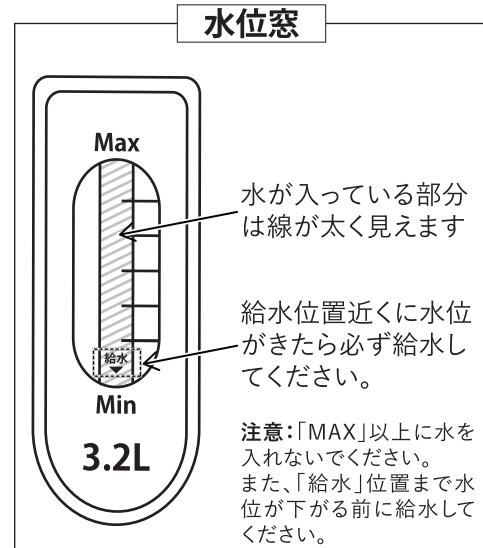
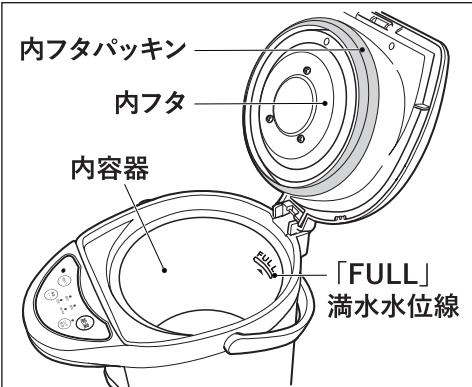
必ずご確認ください



**カッププッシュスイッチ**

カップで押しながら給湯ができます。  
→8ページ参照

**マグネットコードは専用品です。**  
絶対に他製品のマグネットコードなどを仕様しないでください。  
※故障や重大な事故に繋がる恐れがあります。



	保温中のお湯を再び沸かすときや、カルキ抜きのときに使います。
	70/90/98°Cの3段階で保温温度の選択が可能です。設定した保温温度ランプは赤く点滅します。設定温度に達すると点灯に変わります。
	ボタンを押すと、ロック解除ボタンが点灯し、お湯が注げるようになります。給湯後は約15秒後に自動でロックします。(手動不可)
	ボタンを押すと、給湯が開始されます。

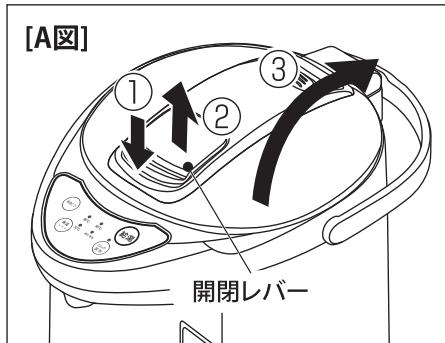
### 【省エネ機能】

本製品は省エネ機能が搭載されており、72時間以上ご使用にならない場合、保温ランプは点灯したままで、保温機能を自動でストップします。  
また、水が少ない場合も機能しませんが、決して製品の異常ではありません。  
保温が切れても、水を入れ替えれば、再度通常通りご使用いただけます。

## フタの取扱い方

※フタを取扱う際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

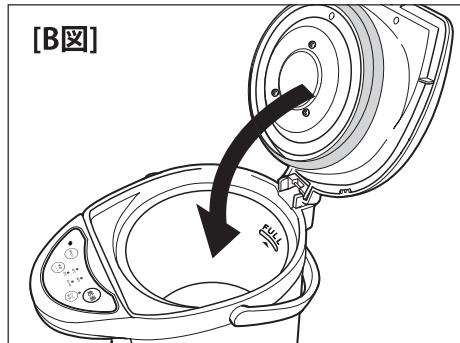
### 【フタの開け方】



開閉レバーを①の方向に押し、②のレバーを押し上げフタを開けます。

安全上、開閉レバーはフタが正しく閉まってないとロックしません。  
[A図]の①をしっかりと押して確実にロックさせてください。  
閉まりにくいのは不具合ではありません。

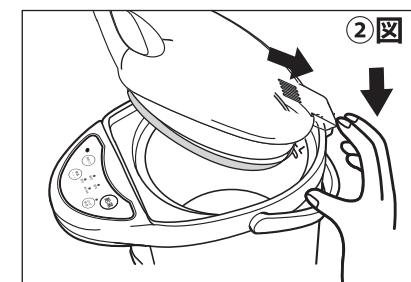
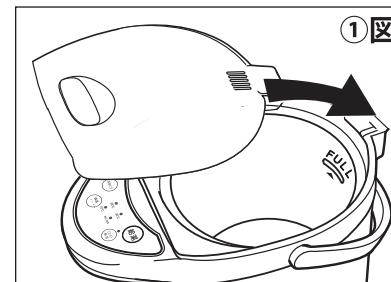
### 【フタの閉め方】



フタを矢印の方向に閉め、「カチッ」と音がするまで押し込みます。  
最後に[A]図の①を押し、確実にフタを閉めます。

## フタの取扱い方

### 【フタの取り付けかた】

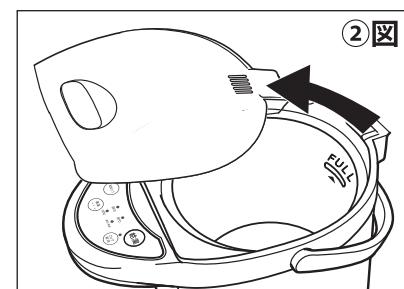
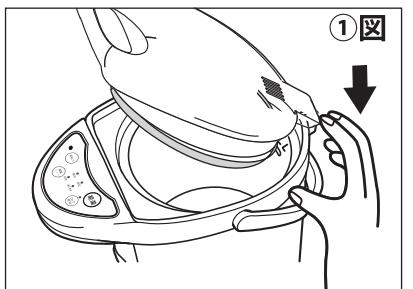


※フタを立てた状態では取り付けができません。

まず、①図のようにフタ裏面の金属軸をフタ取り付け部に斜め前方から差し込みます。  
次に、②図のように取り外しレバーを下に押しながら、フタを斜めに差し込みます。  
最後に、正確に取り付けられていることを確認して、フタをしっかり閉めます。

### 【フタの外しかた】

※必ず取り外しは冷めてから行ってください。



まず、①図のように少しだけフタを開けた状態で、背面の取り外しレバーを下に押します。次に、取り外しレバーを下に押したまま、②図のようにフタを前方向に引き抜くとフタが外れます。

次ページへ→

# 使用方法

初めてお使いのときや、長時間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、何度か給湯して残り湯を捨ててからご使用ください。また、使い始めはプラスチックや金属のニオイがすることがあります、ご使用とともににニオイは少なくなります。

- まず、フタを開けます。

- 次に、やかんなどを使い内容器に水を入れます。

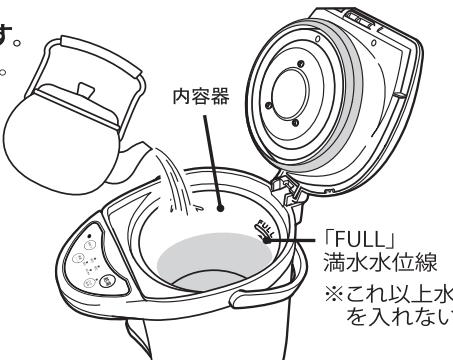
→水道の蛇口から直接水を入れないでください。

※本体・操作パネルに水がかかって、  
感電や故障の原因になります。

**！ 注意**

■「FULL」満水水位線以上の水を入れないでください

→入れ過ぎると、注ぎ口からお湯がこぼれたり、沸騰した際に蒸気口からお湯が飛び散り、やけどやケガに繋がる恐れがあります。



- 「カチッ」と音がするまでフタを確実に閉めます。

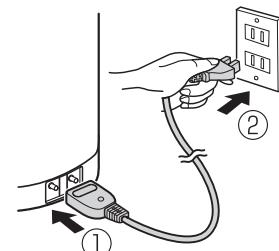
※フタが確実に閉まってないと転倒した時に熱湯がこぼれて、やけどに繋がる恐れがあります。

- 次に、①マグネットプラグを本体マグネットプラグ差し込み口に接続します。

- 最後に、②電源プラグをコンセントに差し込みます。

→濡れた手で電源コードを扱わないでください。

※感電の恐れがあり、重大な事故に繋がる恐れがあります。



①通電すると湯沸かしが始まります。湯沸かし中は設定した「保温温度ランプ」が赤く点滅し、「沸騰/保温」ランプが赤色に点灯します。

②沸騰すると、「保温温度ランプ」は赤い点滅のままで、「沸騰/保温ランプ」は緑の点灯に変わります。

③沸騰後、設定した保温温度になると、「保温温度ランプ」が赤い点灯に変わり、「沸騰/保温」ランプは緑の点灯ままで。保温中はこの状態になります。

④保温開始から全く使用せず72時間経過すると「保温温度ランプ」が消灯して、「沸騰/保温ランプ」が赤い点灯に変わります。

	保温温度ランプ	沸騰/保温ランプ
① 湯沸かし中	赤点滅	赤点灯
② 沸騰後	赤点滅	緑点灯
③ 設定した保温温度になると	赤点灯	緑点灯
④ 保温開始から72時間経過	消灯	赤点灯

# 使用方法

## 【沸騰するまでの目安時間】

3.2L：約35分（室内25°Cの場合）

※室温などの条件が変わると時間は前後します。

**▲ 注意**

■湯沸かし直後はフタを開けないでください。  
※高温の蒸気が出て危険です。

■湯沸かし中は給湯しないでください。  
※やけどに繋がる恐れがあります。

■蒸気口をフキンなどでふさがないでください。  
※やけどに繋がる恐れがあります。

## 【お湯を注ぐ / 電動給湯】

- 「ロック解除」ボタンを押します。

→すると、「ロック解除ランプ」が点灯し、お湯が注げる状態になります。

- 「給湯」ボタンを押し、お湯を注ぎます。

→給湯後は、約15秒後に「ロック解除ランプ」が消え、自動的にロックがかかります。（手動不可）



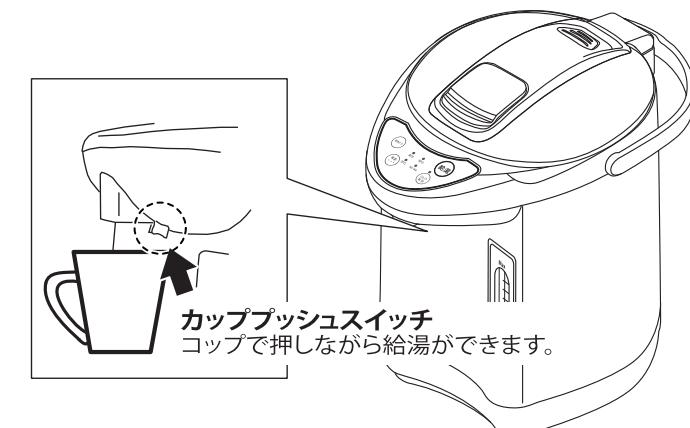
## 【お湯を注ぐ / カッププッシュスイッチ】

- 「ロック解除」ボタンを押します。

→すると、「ロック解除ランプ」が点灯し、お湯が注げる状態になります。

- 次に、給湯口の後ろにあるカッププッシュスイッチを、直接容器で押し上げるとお湯が出ます。

→給湯後は、約15秒後に「ロック解除ランプ」が消え、自動的にロックがかかります。



## 使用方法

### ■給水メモリ以下の水量で使用しないでください。

※空焚きになり、故障の原因になります。

### ■保温中にお湯が少なくなったら水をつぎ足してください。

→つぎ足すと自動的に湯沸かしを開始しますが、水量が少ないと沸騰しない場合があります。その場合は、「再沸とう」ボタンを押すか、水をFULLまでつぎ足してください。

### ■水をつぎ足すときは、蒸気に触れないよう注意してください。

※やけどの原因になります。

### ■フタを勢いよく閉めないでください。

※お湯が飛び散りやけどに繋がる恐れがあります。

### ■マグネットプラグを外すと、給湯ができません。

### ■「ロック解除ランプ」が消えているときは、給湯ができません。

### ■1杯目のお湯は、ぬるくなることがあります。

### ■沸騰後、しばらくお湯が出にくくなることがあります。

### ■注ぐときに本体が回転しないように注意してください。

※お湯がこぼれて、やけどに繋がる恐れがあります。

### ■お湯が少なくなると、注ぐときにお湯が勢いよく出ることがありますのでご注意ください。

### ■最後まで給湯しても、少量の湯が内容器内に残ります。空焚き防止のため、異常ではありません。

### ■湯沸かしおよび保温中は本体が熱くなりますのでご注意ください。

## 保温設定

### ●保温設定は、「70°C/90°C/98°C」の3つから選択できます。

#### ■沸騰後、選択した温度になるまでしばらく時間がかかります。

#### ■保温中は「沸騰/保温」ランプが緑色に点灯します。

#### ■保温は72時間以上ご使用にならない場合、保温機能を自動でストップします。

	水から沸騰するまで (98°C)	約35分	・カップ麺・コーヒー ・紅茶・番茶など
	沸騰してから保温になるまで (90°C)	約65分	・煎茶など
	沸騰してから保温になるまで (70°C)	約2時間50分	・ミルク・高級茶など

### ▲ 注意

■保温温度は多少前後することもあります。授乳でのご使用等、正確な温度管理が必要な場合は、温度計などで確認してからご使用ください。

## 再沸とう

### ●主に保温中の湯を再び沸かすときや、カルキ抜きで使用します。

※再沸とうさせるときは、給水水位線以上のお湯が入っていることをご確認の上で「再沸とう」ボタンを押してください。



#### ●「再沸とう」ボタンを押します。

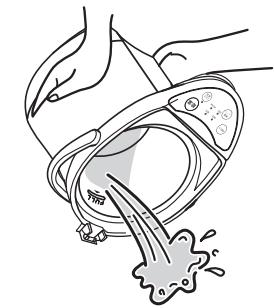
→沸騰/保温ランプが赤色に点灯します。

#### ●再沸とうが終わるとランプが保温中の緑色に変わります。

## ご使用後

### ●必ず残り湯を捨ててください。

※残り湯を放置すると、内容器の変色や腐食の原因になります。



### ●お湯を捨てる際は、給湯口付近を持たないでください。ポンプに残ったお湯が逆流して給湯口から少し噴出するため、本体の下の部分を両手でしっかりと持って、本体の側面からお湯を捨ててください。

※給湯口付近を持つと、噴出したお湯が原因でやけどうを負う恐れがあります。

### ▲ 注意

#### ■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

※感電やケガをする恐れがあります。

#### ■お湯を捨てる際は、フタを外してから行ってください。

※残り湯や、フタが外れてやけどする恐れがあります。

#### ■お湯は側面から捨ててください。

※操作パネルにお湯がかからないように注意してください。お湯がかかると故障の原因になります。

#### ■手などにお湯がかからないように注意してください。

※やけどの原因になります。

#### ■操作パネルやハンドル、プラグ差し込み口、フタ取り付け部にお湯がかからないように注意してください。

※やけどや故障の原因になります。

# お手入れ方法

※お手入れは、電源を切って本体が冷めた後に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。高温部に触ると、感電・やけど・けがの原因になります。

※研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。  
表面を傷つける原因になります。

※台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。  
表面を傷つける原因になります。

※食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。

※お手入れした各部品は、十分に乾いてから本体にセットしてください。  
水気が残ったまま保管すると、カビや雑菌が繁殖する原因になります。



## 本体/本体内部

ご使用いただいたいるうちに、水に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が本体内部に白い固体物になって付着したり、お湯の水面で浮遊します。また、内容器の底に無数の斑点が出ます。これは水垢で衛生上問題はありませんが、汚れが目立つてきたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用している場合は、ミネラル成分が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

◆本体通常のお手入れ：やわらかいふきんで拭いてください。

◆本体内部の通常のお手入れ：濡れたスポンジ等でふき、水を入れすぎます。



## クエン酸洗浄(汚れがひどいとき)

①内容器の「FULL満水水位線」まで水を入れ、クエン酸（市販品）を、約50～80g入れて混ぜます。

②フタを閉めてお湯を沸かした後、約2～3時間「90℃保温」にします。

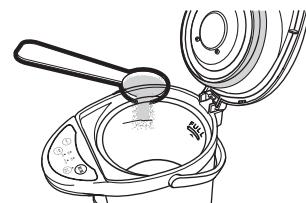
③「ロック解除」ボタンを押し、「給湯」ボタンを押してクエン酸を入れたお湯を全て出します。

④プラグを外し、冷めてから内容器を濡れたスポンジでこすります。

⑤クエン酸のニオイを取るために、「FULL」満水水位線まで水を入れてお湯を沸かします。

⑥「ロック解除」ボタンを押し、「給湯」ボタンを押してお湯を全て出し、残ったお湯も全て捨てます。

⑦最後に、キッチンペーパーで内容器を拭き上げます。

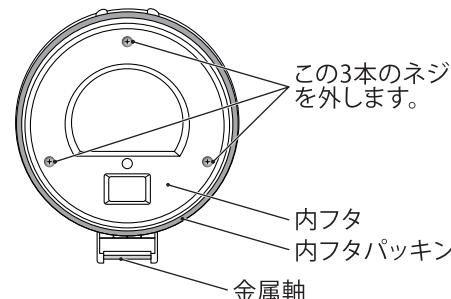


## 内フタパッキン【内フタパッキンは消耗品です】

フタのすき間から蒸気が漏れ出したら、新しい内フタパッキン（有償）と交換してください。交換の際は、お買い求めの販売店、もしくは「サービスセンター」までお問い合わせください。

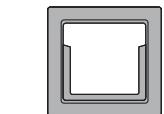
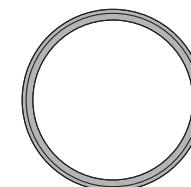
### 【内フタパッキンの取り替え方】

①内フタ3本のネジを外します。



②交換するパッキンを付け替えます。

※パッキンを交換する際は、元の状態（各部品の向きや取り付け場所）を確認した上で行ってください。



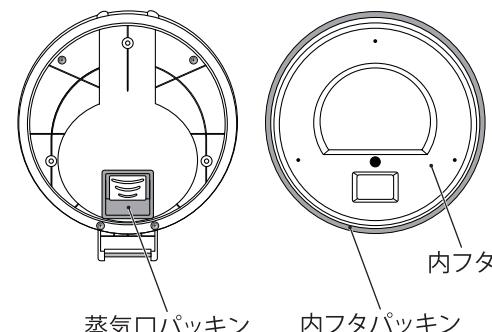
内フタパッキン 蒸気口パッキン

## フタ

◆普段はフタを外して丸洗いします。

※しっかり水気を取り、乾燥させてから本体に取り付けてください。

パッキンと内フタを外した状態。



## 製品使用

型 名	HKP-320
電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	650W
温 度 ヒューズ	133°C
電 流 ヒューズ	15A
ポ ッ ト 容 量	3.2L
本 体 サ イ ズ	約(W)28.0×(D)21.5×(H)32.0cm
重 量	約 2.05kg
コ ー ド 長	約 1.5m

## こんなときは

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

こんな時は?	調べるところ	処置
電源が入らない 作動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マグネットプラグや電源プラグが差し込まれていない</li> <li>●マグネットプラグ、コードにホコリが付着している</li> <li>●内容器に水が入っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マグネットプラグと電源プラグを差し込んでください</li> <li>●付着したホコリを拭き取ってプラグを差し直してください</li> <li>●空焚き防止で一時的に動かない可能性があります。水を入れてしばらくすると作動します。</li> </ul>
保温中のお湯が ぬるい・冷たい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●72時間以上使用していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●72時間以上使用しないと、省エネ機能の働きでストップします。</li> </ul>
お湯が勝手に出る 「給湯」ボタンから手を 離しても止まらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「FULL」満水水位線以上の水を入れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水を「FULL」以下に減らしてください。</li> </ul>
お湯が出ない・出にくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●給湯ロックになっている</li> <li>●内容器に水あか等がついている</li> <li>●沸騰直後である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ロック解除」ボタンを押してから、「給湯」ボタンを押してください。</li> <li>●内容器のお手入れをしてください。</li> <li>●沸騰数分間はお湯が出にくくなることがあります。</li> </ul>
ポットのお湯がにおう	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初めてお使いになるときや、しばらく使っていなかった</li> <li>●カルキ臭がする(水道水に含まれる消毒用の塩素の影響)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ご使用にともないイヤなにおいはうすますが、気になるときはクエン酸洗浄やポット用の洗浄剤をお試しください</li> <li>●再沸騰してください カルキ臭はうすれます</li> </ul>
マグネットプラグ 電源プラグ 電源コード に破損が見られる	直ちに使用を中止して、サポートセンターへご連絡ください	

お調べいただいても原因がわからないときや、他の異常や故障があるときは、  
お買いあげの販売店、サービスセンターに修理をご依頼ください。

## 保証とアフターサービス(よくお読みください)

### ● 修理を依頼される場合

1. 故障の時は、使用を中止して修理を申しつけください。  
故障のまでの使用やご自分で修理は危険です。
2. 修理は、お買い上げの販売店に商品をお持ち込み頂き故障状況をご案内ください。
3. 保証期間中は、保証書の記載内容に基づき修理をいたします。
4. 保証期間が過ぎた場合、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により修理いたします。
5. 本機の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。  
又、保有期間が経過した後も故障修理箇所により修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

### ● 無料修理規定

1. 正常な使用状況(取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った使用状況)で故障した場合。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、必要事項が書き込まれた本保証書を提示ください。
3. 保証期間内でも次の場合には、有料となります。
  - ①本書の提示が無い場合。
  - ②本書にお買い上げ年月日、お名前、製造No.の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
  - ③使用上の誤り、他の機器から受けた障害、又修理や改造による故障または損傷。
  - ④火災、地震、水害、落雷、その他自然災害及び異常電圧、その他の外的要因による故障、損傷。
4. 保証期間1年